

## (シラバス No.24) (関連科目)

科目名	教育法規特論	単位数	2単位	科目コード	K3
	Advanced Seminar on Legal Aspects of Education and Education Lawsuits	形態	選択		
		担当教員	内山 絵美子	教職	小中高
<b>【授業概要】</b>					
<p>教育関係の紛争事例や判例の分析を行い、学校や教員の責務やコンプライアンスについて議論することを通じて、教育法制度への理解を深める。毎回、報告者を設定して判例の検討を行う。報告を踏まえて、議論をするともに、担当教員が適宜講義を行う。</p>					
<b>【授業の到達目標】</b>					
<p>①教育の原理・原則にかかわる法令、学校や教員の責務・サービスに関する法令について理解している。  ②①にかかわる判例を理解し、類似の事例や他の事例についても考えることができる。  ③現代の教育課題について法という観点から考えることができる。</p>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスとイントロダクション—「法」と「教育紛争」について</li> <li>生徒指導①—校則（熊本県玉東町立玉東中学校丸刈り校則事件：熊本地判昭60・11・13）</li> <li>生徒指導②—体罰（水戸市立第五中学校事件：東京高判昭56・4・11）</li> <li>生徒指導③—いじめ（中野富士見中いじめ自殺事件：東京地判平3・3・27）</li> <li>生徒指導④—いじめ（安全配慮義務違反損害賠償請求事件：京都地平22・6・2）</li> <li>学習指導①—信教の自由（日曜授業参観事件：東京地判昭61・3・20）</li> <li>学習指導②—信教の自由（剣道実技受講拒否事件：最二小判平8・3・8）</li> <li>学校安全・児童生徒の保護①—学校事故（騎馬戦負傷損害賠償請求事件：福岡地判平27・3・3）</li> <li>学校安全・児童生徒の保護②—学校事故（部活動事故国家賠償請求控訴事件：大阪高判平27・1・22）</li> <li>情報公開①—（公文書非開示決定処分取消請求事件：最二小判平14・10・11）</li> <li>情報公開②—（いじめ自殺アンケート開示請求事件）</li> <li>教員の権利・自由①—教師の教育権（旭川学テ事件：最大判昭51・5・21）</li> <li>教員の権利・自由②—学習指導要領の拘束性（伝習館高校事件：最三小判平2・1・18）</li> <li>教員の身分と服務①—研修（研修参加教員・時季変更損害賠償請求控訴事件：広島高平17・2・16）</li> <li>教員の身分と服務②—思想・良心の自由（君が代ピアノ伴奏職務命令拒否戒告職分取り消し請求事件最三小判平19・2・27）</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
「授業内で課すレポート（報告）」（50%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価する。					
<b>【教科書】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説教育六法編修委員会編『解説教育六法2017』（三省堂、2017）</li> <li>・適宜プリントを配布</li> </ul>					
<b>【参考図書】</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉崎洋一・荒巻重人・小川正人他編『ガイドブック教育法』（三省堂、2009）</li> <li>・荒巻重人・小川正仁・窪田眞二・西原博史『新基本法コンメンタール教育関係法』（日本評論社、2015）</li> <li>・伊藤進『学校の法律問題 その事例をめぐって』（三省堂、1983）</li> <li>・兼子仁編『教育判例百選（第三版）』（別冊ジュリストNo.118）（有斐閣、1992）</li> <li>・窪田眞二・小川友次『教育法規便覧』（学陽書房、2017）</li> <li>・坂田仰編（2015）『生徒指導とスクール・コンプライアンス』（学事出版、2015）</li> <li>・鈴木勲編著『逐条学校教育法 第7次改訂版』（学陽書房、2009）</li> <li>・浪本勝年他著『教育判例ガイド』（有斐閣、2001）</li> <li>・柳瀬昇『教育判例で読み解く憲法』（学文社、2013）</li> </ul>					